



# どこでも フォトスポット

## 開発者ガイド



当サービスでは柔軟なサービス提供の為に、様々な外部連携機能の実装しております。

## ① URLクエリ連携 (STANDARDプラン～)

- URLのパラメータに変数名を設定し値を渡すことが可能です

例) `https://doco-photo.com/e/フォトスポットURL?変数名=値`

## ② API連携 (PROプランのみ)

- 外部APIから変数を取得することが可能性です。

- POST
- Access-Controll-Allow-Originヘッダーに「doco-photo.com」を設定してください。
- フォトスポットのURLをevent\_urlとしてパラメータを付与します
- API実行時にURLクエリ連携で設定した変数をパラメータとして送信します。
- 位置情報送信設定をすると緯度 (latitude) 、経度 (longitude) を送信します



例) `https://doco-photo.com/e/フォトスポットURL?url_param=test`

位置情報送信ONの場合下記パラメータを付与して設定されたAPIのURLにPOSTします

event\_url:フォトスポットURL  
 url\_param:test  
 latitude:緯度  
 longitude:経度

※APIに変数 (URLクエリのみ反映) を設定することも可能です。

例) `https://doco-photo.com/e/フォトスポットURL?url_param=test`  
 API設定 : `https://api.doco-photo.com/$url_param$`  
 変数を変換して呼び出し ⇒ `https://api.doco-photo.com/test`





## ② API連携 出力規定

- 外部APIはJSONで出力してください。  
配列・オブジェクトは非対応ですので利用できません。

```
{  
  param1:"パラメータ1",  
  param2:"パラメータ2",  
  Array1:["test1","test2"] ※配列は非対応  
  Object1:{child1:"子"} ※オブジェクトは非対応  
}
```

- 予約メンバ  
下記項目をJSONに含めることで、特殊な制御を行うことが可能です。  
docophoto\_message … 設定したメッセージをアラートで表示します。  
docophoto\_close … 処理を中断します  
( docophoto\_message が設定されている場合のみ有効)





本サービスでは、SVGファイルに変数を設定することが可能です。  
SVGファイルにて、\$ 変数名 \$ で設定したテキストは受け取った変数名で置換されます。

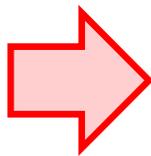
## 予約変数

event\_date … yyyy年MM月dd日

event\_countdown … イベントに設定された日付までの残日数

あと  
\$event\_countdown  
\$日

SVGファイル



あと 10日

出力

出力の際に変数の値が反映された状態で出力されます。  
※文字列をアウトライン化すると変換されませんのでご注意ください。





PROプランではレイヤー画像に外部画像を設定することで画像データも可変で表示することが可能です。

レイヤー-1



外部画像:外部画像利用

外部画像URL設定

画像URL

`https://img.doco-photo.com/organizer/22/frame/$param$`

縦位置  
top

横位置  
left

レイヤー削除

例) 画像URL

`https://img.doco-photo.com/$param$`

URLに変数を指定することで、変数に応じた画像を表示することが可能です

※外部画像を利用する際は

Access-Controll-Allow-Originヘッダーに「doco-photo.com」を設定してください。

